平成28年度事務事業実績評価表

政策No.	1	施策No.	12	事業No.	31 - 8

事務事業名	ものづくり高度人材育成事業	会計	一般会計	実施区分	継続
		事業種別	政策	開始	19 終了

H29作成課等名	工業課	H29係等名	工業振興係	H28担当課等名	工業課

基本計画上の位置づけ			
	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり
	施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化

目的

対象(誰・何を)	企業の研究者・技術者
意図(どういう状態にするか)	企業で抱えている課題を解決する。 修士称号を取得し、研究開発型企業を育成する。
向上させたい上位施策の成果指標	新規就業者数(新卒のみ)(人)

対象指標

指標名及び単位	28年度数値
工業統計による事業所従業員数(飯田下伊那)	15514
入学生数	0

目標

種別	指標名及び単位	27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
成果指標	解決した課題数	2	2	2	1	
成果指標	称号取得数	2	3	2	1	
定性目標						

事業概要

信州大学工学部と連携し、社会人を対象とした企業の技術課題を研究テーマに専門分野を深く研究する高度な専門職人材の育成を図る。
信州大学大学院電気・電子工学専攻
精密機器制御システム技術者育成コース(2008年4月入学者)
モバイル制御機器コース(2009年4月入学者)
ものづくり高度人材育成のために大学及び研究機関等に送り込んでいる企業を対象に、定額補助を行う。

28年度事業内容

事業内容	名称	活動指標
1 大学院コースの運営 (1)第9期生2年目 (2)第10期生に向けたカリキュラムの作成 (3)第10期生の募集 (4)企業への大学院コースのPR(修了者による研究報告会の開催)	1 (1)開講回数 (2)入学者数 (3)全大学院生数	1(1) 24回 (2) 0人 (3) 2人

事業コスト	27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①	3,000	3,000	3,000	0	(そ)ふるさと寄附金
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	3,000		1,346		
一般財源	0	3,000	1,654		
人件費計(千円)②	72	0	72	0	
正規職員所要時間	20		20		
臨時職員所要時間					
総事業費①+②	3,072	3,000	3,072	0	

事業内容・目標達成状況の振り返り

1名が修士課程を修了し修士称号を得ることができ、研究内容を発表する場を提供することができた。また、修士課程の研究を通じて、企業が抱える課題を解決することができた。

改革改善の考え方

①問題点	社会人選抜大学院のため、企業が抱える課題を研究テーマとして取り組んでいるが、研究分野が限定的であるため地域内の入学生の確保に苦慮している。
②改革提案	地域内の中核企業を育成することを目的とした現状の専門コースは、信大航空システム共同研究講座を継続しつつも、特別の課程1年コースも引き続き開催し、1年コース修了生にものづくり大学院への入学を考えてもらえるようPRに努める。